



令和4年10月13日(木) 岩倉市生涯学習センターでのEプロ活動2 岩倉市シニア大学(生涯学習講座) 企画委員を対象とした

「くすり教室：実験講座」(共催：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO))

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。令和3年度から、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されました出前講義や名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称：Eプロ)の活動が再開されました。今年度、2回目のEプロの活動となりました。

岩倉市生涯学習センターの後藤秀洋事務局長、木原かおりさんのご尽力により、令和4年10月13日(木)、岩倉市生涯学習センター研修室にて「くすり教室：実験講座」を下記の内容で開催しました。当日は、岩倉市シニア大学企画委員の12名が「くすりの適正使用」について学び、積極的に質問され、意欲的に参加していただきました。

岩倉市シニア大学企画委員を対象とした「くすり教室」

日時：令和4年10月13日(木) 15時00分~16時00分

場所：岩倉市生涯学習センター 研修室1

内容：

・「体験実験」

参加者は4グループ(1グループ3名)に分かれ、名城大学薬学部 間宮隆吉准教授(NPO J-DO 理事)がスライド資料を使用して、実験する目的を説明しながら体験実験を行いました。体験実験では、より理解できるようにEプロの薬学生(5年生3名)が補助しました。

<実験項目>

①薬の溶ける工夫(飲みやすさ・腸溶)

②薬と飲食物との関係(相互作用)

実験1：口の中に入れると簡単に溶ける薬

実験2：胃でとけずに腸でとける「くすり」があるのを知ってる？

実験3：薬をお茶で飲んでもよいでしょうか？

実験4：「うがいぐすり」でうがいをした後に、

すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

制作：Eプロ(名城大学薬学部病態
解析学I：吉原希、野田幸裕)
薬品作用学(間宮隆吉)
監修：NPO J-DO